Management Club Report

Dec.2017/Vol.180

Monthly Opinion ≪第11回スタッフリーダー・ミーティング≫

MCレポートが180号を迎えました。2003年1月に第1号を発行して15年が経ったことになりますが、1号からずっとご愛読いただいている方には感謝の二文字があるばかりです。この記念号に相応しい濃い内容を今回はお届けいたします。

12月10日、グランフロント大阪北館タワーB、ナレッジキャピタル・カンファレンスルーム５・６に76人が集い、第11回スタッフリーダー・ミーティングが開催されました。４人のスタッフリーダーによる発表の共通テーマは『受ける、受けとめる』です。組織で働く人間は、日々様々な指示、要求、依頼、注文を受け、更に環境や状況の変化を受けとめ、顧客や組織のために最適な対応をしようとしますが、取り分けリーダーとしての立場にある人間は、中間管理職として位置付けられるために、その受ける内容の濃さや重さ、そしてその量はトップやフォロワーの比ではないでしょう。

そのような重責を担うスタッフリーダー職への就任を下命されたとき、リーダーたちはそれをどう受けとめたのか。リーダーとなって働く中で降りかかる様々な指示や依頼はもとより、自らが発信する指示に対して返される反応をどのように受けとめてきたのか、チームプレーの品質は当にリーダーの受け方、受けとめ方にかかっています。４人のスタッフリーダーたちが、それぞれ異なった環境の中でも同質の問題や悩みを抱え、それぞれの“流儀”で受け、それぞれの考え方で受けとめてきた体験談は、多くの歯科医療従事者に感動と共に大きなヒントを与えてくれるものでした。

《左から近藤加奈子、石川洋平、竹村沙樹、稲田祥子の各氏》